

委員会視察成果報告書

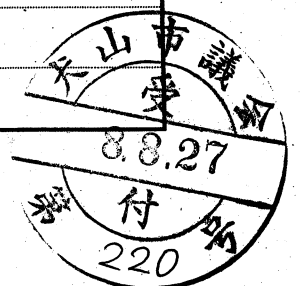
8年8月27日

犬山市議会議長

議員名 鈴木伸太郎

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	8年 8月 19日(水) ~ 年 月 日() (泊 日)
(2) 視 察 地	
(3) 視察の種類	②・特別 委員会 (建設経済委員会)
(4) 視 察 成 果 (視察地ごとに記入)	別紙のとおり
(5) 犬 山 市 に 対する提言	別紙のとおり



委員会出張報告 令和8年8月19日（水） 京都府宇治市
宇治川の鵜飼について

今年度の建設経済委員会所管事務調査である、木曽川鵜飼を研究するため、宇治市の宇治川の鵜飼について学んだ。

宇治市は人口12万、京都市の南にあり、大阪からも比較的近い立地から、観光地でありながらも、京阪奈のベッドタウンとしての顔もあり、その点では犬山と似ている。

宇治川の鵜飼いは、淀川の上流、琵琶湖から流下する宇治川の派生水路で行われている鵜飼、犬山より規模は小さいが、京都のインバウンド含む観光客等をいかにして取り込んでいるのか等を探った。

宇治川鵜飼の労働環境は木曽川鵜飼より大変、それを打破するためにいくつかの取り組みをしている。

- ・秀吉が宇治川改修を行った遺跡地で実施を始めた「放ち鵜飼」。
- ・動画PR、イベント、子ども鵜匠体験等、次世代へのアプローチ。
- ・バスツアー実施、コンスタントに集客。
- ・鵜舎は犬山より狭いものの、観光客への「見える化」でアピールしている。
- ・今年度100周年、京都アニメーション等とコラボレーションでPR実施。

犬山市への提言

- ・高額ツアー商品を開発し、インバウンドをターゲットに展開、客単価、利益率を上げる。
- ・鵜飼そのものだけでなく、関連した体験教室、各種イベント商品を展開し、新たな客層を取り込む。
- ・鵜舎は建替え必要、来訪者が訪れられる立地が最適。
- ・犬山市の場合、市、観光協会、木曽川観光、漁業協同組合との関係が不透明、そのあたりは明確にすべき。

以上